

下田まち遺産のある風景。
自然の造った
景観美に魅了される。

海岸線に沿って美しい海が広がる吉佐美大浜から田牛を下田まち遺産担当・小川がご案内します。

ワンちゃんを連れて散歩をする人も多い
地域。こんなワンちゃんにも会えました。



1 はまばう樹林の中のボードウォーク。
→ ライブイベントの会場がある舞磯漁港。

まいほま
02 舞磯漁港

はまばう樹林のある大賀川河口から更に下流へ進むと舞磯漁港へ繋がっており、白い砂と沖へ行くほど緑色の深くなる海の色の目を惹きつけます。近々には、舞磯漁と吉佐美大浜とを繋ぐはまばうブリッジがあり、2つの港を行き来することができます。

はまばうじりん
03 はまばう樹林

舞磯が石海を流れ、年間を通じて温暖な気候の下で育まれた樹林です。「はまばう」の名はシロトウに命名され、7月～8月にかけて南国情緒ある黄色い花（花実写真）を咲かせます。野生地を緩くように設置されたボードウォークからの眺めは絶景で、平成10年には静岡県都市景観賞を受賞しました。ボードウォークの下にはカニの巣穴がたくさんあり、可愛い顔を見せています。



沖の燈台めくれれば
光る磯波に
歩みよ未明のとき流れつつ

近藤芳美

若山敦水



ききみおほま
01 吉佐美大浜

770mもの雄大な浜。整った環境でサーファァーやグループに人気のビーチです。清掃活動は吉佐美地区や有志サーファァー、地元住民らが行っています。白い砂浜とコバルトブルーの海が見事です。毎年9月初旬には海の祭典・ビッグシャワーが開催され、たくさんの人で賑わいます。

あこまじきとういせせせ
04 神子元島燈台石碑

2人の歌人の歌が刻まれています。1人は自然主義・浪漫主義で旅と酒を愛した若山敦水。もう1人は戦後の歌壇を牽引し、文化功労者にも選ばれた近藤芳美です。若山敦水は大正2年に神子元島の灯台守であった田友・古賀安治を訪ねた際に歌を詠み、近藤芳美は昭和49年に知人に会うために下田を訪れ、吉佐美大浜にて歌を詠みました。石碑は土地の縁起を願って神子元島燈台文学碑建立会が平成11年に建て、その土台は当時の朝日小中学校ら・6年生が1人ずつ自然保護の言葉を書いた石を埋め込んでいます。また、石碑からは沖に浮かぶ神子元島よく展望できます。

友が光る燈台よあはれ
わた中の
わだのくに白く立ち居り
蟹めく岩に

若山敦水

近藤芳美



あじよほま
05 亜相浜

亜相浜は、長大な砂浜である吉佐美大浜の隣にも関わらず、砂浜と石が混在する浜となっています。浜の脇には岩が多数あり、その様子をよく見ることがあります。亜相浜は普通の浜とは異なる表情を見せており、大自然の雄大さを感じることができそうです。

とうじまんすきーじょう
06 田牛サンドスキー場

海からの東風によって砂が残り残った砂浜は斜面30度にもなり、今ではサンドスキーが盛んな下田唯一の場所となりました。白い砂浜とコバルトブルーの海は素晴らしい景観を創出して、見るものを楽しめます。清掃活動は田牛区や田牛観光協会が行っており、地域住民に愛されていることがわかります。

せしよんうみのいえ
07 青少年海の家

昔は私立小学校。今は青少年海の家として、教育旅行の学習の場など利用されています。昭和5年に建てられた市内に残る最も古い木造校舎であり、田牛地区の自然豊かな景観とあわせ懐かしい風景を今に伝えています。なれ、校名の「登白山」は、中国の四書五経にある高車山（高山）に登るときは、必ず低いところから登り始める事を行うには守るべき順序があるという故事）に由来し、明治時代に命名されたそうです。

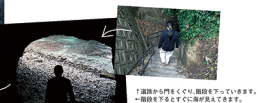
とうじかいがん
08 田牛海岸

白い砂浜と岩場できた特徴的な海岸で、何処となく柔らかな表情があります。もちろん水質も良好で、清掃活動は田牛地区と田牛観光協会が行います。近くには下田まち遺産である田牛サンドスキー場や龍宮窟、青少年海の家があり、散策しやすくて、田牛地区の下田まち遺産の中心地でもあります。

小川のオススメ
田牛イカ干し



田牛地区で冬になると海岸沿いに見られるイカ干しの風景。ゆらゆらと揺れるイカの向こうに美しい田牛海岸の青い海が見えます。



1 洞窟から門をくり、洞窟を下っています。
→ 階段を下ると下へ海が見えます。

私の愛しの人はどこにいるの～！
ラブフーズポイントとして人気の龍宮窟。
ハート型の穴に顔を見れば成するか？！



りゅうぐう
09 龍宮窟

長年にわたる波の侵食によって二方向に分岐した洞窟で、天井の一部が崩れることにより天窓が開いています。この天窓は伊豆の中でも最大級であり、洞窟内部を上から覗くとハート型になっている様に見えます。穴から差し込む光、ジオパーク龍宮ラングの見事な地層、澄んだ海水による景観は後世に残すべき絶景となっています。
注)洞窟内部を上から覗く場合は注意して下さい。

